



栄研  
各位

# News Release

平成 16 年 7 月 26 日

会社名 栄研化学株式会社  
代表者名 代表取締役社長 黒住 忠夫  
コード番号 4549 東証1部

## 基礎研究用 Loopamp®プライマーセット 新発売のお知らせ 第1弾：プライマーセット WNV (West Nile Virus)

栄研化学株式会社(本社：東京都文京区、以下 栄研化学)は、株式会社富士通システムソリューションズ\*<sup>1</sup>が運営するインターネット上のマーケットである「WebSERVE/e Genome Order」\*<sup>2</sup>を通じて、栄研化学の遺伝子増幅技術 LAMP 法\*<sup>3</sup>の基礎研究用プライマーセットを順次発売してまいります。その第1弾として、8月3日より『Loopamp®プライマーセット WNV』(WNV\*<sup>4</sup>：West Nile Virus; ウエストナイルウイルス、西ナイルウイルス)を新発売いたします。

Loopamp®プライマーセットは、論文、学会等で報告された LAMP 用プライマーをコントロール DNA(または RNA)とセットにし、「WebSERVE/e Genome Order」を通じて、いち早く学術研究目的にご使用いただく商品です。これらのプライマーセットと既に発売しております『Loopamp®DNA 増幅試薬キット』あるいは『Loopamp®RNA 増幅試薬キット(RT-LAMP)』と組み合わせることで、対象遺伝子の確認や検出を行うことが可能です。Loopamp®プライマーセットを順次発売していくことにより、様々な分野で多くの研究者の方々に LAMP 法の特長を実感していただけるものと考えます。

Loopamp®プライマーセットの第1弾『Loopamp®プライマーセット WNV』は、WNV 遺伝子の確認、検出を行うためのプライマーセットで、長崎大学熱帯医学研究所\*<sup>5</sup>(病原体解析部門分子構造解析分野・森田公一教授)と進めてきた共同研究の成果であります。『Loopamp®RNA 増幅試薬キット(RT-LAMP)』との組み合わせにより、RNA からの逆転写反応・増幅反応を1ステップで行うことができ、一定温度(63 )で迅速(35分)に WNV 遺伝子の増幅あるいは有無をリアルタイム濁度測定装置または蛍光目視によって確認することが可能です。

WNV は、1999 年に米国ニューヨークに侵入した後、その感染域を拡大し、2003 年には西海岸のカリフォルニアまで達するとともに 46 州で確認され、患者数 9,858 名、死亡者数 262 名となりました。今年も 7 月 16 日現在、既に患者が 160 名報告され、死亡者も確認されています。米国西海岸から日本へは多数の航空機、船舶の往来があり、また鳥の渡りも頻繁なことから、日本への侵入・感染が危惧されています。

『Loopamp®プライマーセット WNV』は、WNV 遺伝子の増幅、検出が簡易かつ安価な装置で迅速に行うことができるため、日本への侵入・感染に関する学術研究に貢献できるものと考えます。栄研化学は、今後、本プライマーセットについて感染流行地域での臨床性能評価を進め、引き続き試薬キット化の検討を進めてまいります。また、第2弾以降のプライマーセットとして企業、公的機関との共同研究成果を考えております。

**『Loopamp®プライマーセット WNV』**

発売日：平成 16 年 8 月 3 日

価 格：35,000 円(48 回用、税別)

製造：栄研化学株式会社

販売：株式会社富士通システムソリューションズ

**【本件に関するお問い合わせ先】**

栄研化学株式会社 広報部

TEL：03-3813-5405 FAX：03-3813-2206 e-mail：koho@eiken.co.jp

**【用語解説】**

\*<sup>1</sup>株式会社 富士通システムソリューションズ(以下 Fsol)

代表取締役社長 秦 聖五

〒113-0021 東京都文京区駒込 2 - 2 8 - 2 (文京グリーンコートセンター内)

TEL 03-5977-5311(代表) (<http://www.fsol.fujitsu.com/>)

\*<sup>2</sup>WebSERVE/e Genome Order (<http://genome.e-mp.jp>)

Fsol のインターネット統合ソリューションサービス。LAMP 法の原理をベースとしたプライマー設計から試薬キット・検出装置など、研究に必要なサービスや商品がインターネット経由で揃います。

\*<sup>3</sup>**LAMP 法**

栄研化学が 1998 年、PCR 法に代わる遺伝子増幅技術として、独自に開発した新しい遺伝子増幅法です。反応は、サンプルとなる遺伝子、プライマー、鎖置換型 DNA 合成酵素、基質等を同一容器に入れ、一定温度(60~65 )で保温することにより、増幅から検出までを 1 ステップの工程で行うことができます。鋳型が RNA の場合でも、逆転写酵素を添加するだけで DNA と同様に増幅が可能です。増幅効率が高く、DNA を 15 分~1 時間程度で 10<sup>9</sup>~10<sup>10</sup> 倍に増幅することができます。また、極めて高い特異性をもつため、目的とする DNA 配列の存在を増幅産物の有無で判定することができます。(詳細 <http://loopamp.eiken.co.jp/>)  
なお、「Loopamp®」は、栄研化学の LAMP 法製品のブランドネームです。

**\*<sup>4</sup>WNV (West Nile Virus: ウエストナイルウイルス、西ナイルウイルス)**

ウエストナイルウイルスは自然界においては、鳥と蚊の感染サイクルで維持されます。ヒトには感染蚊に刺されることにより感染しますが、ヒトからヒトへの感染はありません。症状は、突然の発熱、筋肉痛、発疹など。通常1週間以内で回復するが、激しい頭痛、意識障害などの重篤な症状を呈することもあります。治療は対症療法のみ。日本においては、輸入症例の報告、国内感染いずれもありません。アメリカの今年度の発生状況は、CDCに未報告分を含めて、7/16日時点で、地域の保健局への報告を合計すると160人の患者が報告されています。昨年同時期では、報告患者数は5人でした。

ウエストナイルウイルスに関する詳しい情報は、国立感染症研究所感染症情報センターの下記アドレスのページを参照してください。

<http://www.nih.go.jp/vir1/NVL/WNVhomepage/WN.html>

**\*<sup>5</sup>長崎大学熱帯医学研究所**

長崎医科大学熱帯医学研究所に関する情報は、下記アドレスのホームページを参照してください。

<http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/enter.shtml>